

公益財団法人 Uビジョン研究所

第1期 2016（平成28）年度 事業報告書

2016（平成28）年12月16日から2017（平成29）年9月30日まで

1 事業の成果

公益財団法人となって第1期（9ヶ月間）の事業報告。法人名が変更になった2016年12月16日からは、NPOの解散や残余財産に伴うさまざまな手続きが必要となりました。顧問である公認会計士や司法書士、職員が一丸となって乗り切り、3月までにNPO法人の解散・清算や一般財団法人からの移行すべての手続きが完了しました。

公益財団法人になり多額の寄附金が増えました。税制優遇のメリットの大きさを実感しました。使途特定寄附金（基金）がNPO法人のときに1つだったのが、2つの基金（100万円以上の寄附金）が増え、現在3つの基金があります。

一般寄附金の募集に関して、Uビジョン研究所の広報誌発行時に、工夫を凝らしちらしを同封しました。その結果、9ヶ月間で378,000円の寄附を集めることができました。

賛助会員は、個人賛助会員36人。法人賛助会員13法人となり、予算には達しませんでした。個人会員は意思表示のない退会（退会するという意思表示なく広報誌を2年送付し続けている人は退会とみなす規程がある）4人で、法人会員については意思表示なく会員費を振り込んでいないところが1カ所ありましたが、今回、群馬県の法人が加入してくださり、現状維持することはできました。

【認証事業】

中長期計画はNPO法人で2014（平成26）年度に策定したものを継続しています。2017年（平成29）年が中期計画となっており、認証取得施設を10施設に増やす計画ですが、現在5施設で計画の半分しか達成できていません。今後、重点的に努力しなければならない課題です。

創設以来目標としていたアワード制度は多額の寄附があり、基金として創設することができました。

国や自治体で認証施設が認められるように努めることについては、認証審査、抜き打ち調査を実施するたびに自治体を訪問し報告、説明していることと、毎年

のように国への提言を行っています。

評価者養成に関しては昨年度5人の参加者がおり、現在1人が認定されています。

認証施設の災害ネットワークについては、寄附金で支援できるよう寄附金の募集は継続的に行っており、少しずつ増えています。

Uビジョン研究所が事業を継続していくための留保金を基礎財産として1,800万円を目標として努力し、職員の協力もあって達成することができました。

事業の柱である認証事業や講師派遣を拡大するための広報（PR）は、2017年7月の中旬に、企業に対して「あなたの会社から介護離職を防ぐために！」の研修及び賛助会員加入の案内状を82企業に送付しました。しかし、何の反応もなくPRの方法にさらなる工夫が必要だと反省しています。

また、鳥取県の大手介護事業を展開する社会福祉法人こうほうえん（米子と鳥取市）のよなご幸朋苑とにしまち幸朋苑と社会福祉法人賛幸会（鳥取市）ののではまゆうとはまゆうに伺い施設評価認証の説明を行いました。県庁にも認証を理解してもらい、官民連携の仕組みをつくるための提案をしました。しかしながら、まだまだ社会福祉法人の第三評価に対する役割や認証の意義を理解してもらい、実際に取得するまでの意識を高めるのは時間がかかると感じました。

認証事業は計画通り実施でき、認証審査1件、抜き打ち調査3件を行いました。調査結果報告を高知県庁と熊本県庁、兵庫県庁及び宝塚市役所には年度を超えて10月に説明に行く予定（アポイント取れています）です。

【講師派遣事業】

講師派遣はほぼ順調に実践できましたが、単発依頼が少なく予算よりも下回りました。今後は、講師派遣のPRを工夫し、普及するための努力が必要です。職員の人材不足で研修を受ける時間が確保できないという社会全体の課題が反映され、社会福祉法人の研修に割く予算は少なくなっているのと、職員を研修に出せない厳しさがありますが、そんな中でも社会福祉法人は人材育成のために教育研修は必要不可欠であるということを理解してもらい研修が実施できるように促していく必要があります。

【セミナー事業】

トップマネジメントセミナーは、今年度認証を取得した高知県宿毛市の社会福祉法人愛生福祉会の特養ホーム豊寿園で行います。地理的に不便なところにあるにも関わらず、定員以上の参加〔締め切りは9月末〕がありました。開催は次年度（11月16日～17日）になります。今回のトップマネジメントセミナーの

案内は都道府県にある老施協にも送付しました。

【出版事業】

出版事業は、新しい本の発行はないため予算を低くとっていましたが、研修時に本を持参して販売した効果があり、予算以上の収益がありました。

【調査・研究事業】

調査研究に関しては、評議員からの意見もあり「特別養護老人ホームにおける利用者の薬の服用に関する実態調査」を実施するために太陽生命厚生財団に助成を申請したが、9月上旬に落選の通知が届きました。特養ホームにおいて重要な調査であるため、今後、別の助成金を探したいです。

事務局職員は4月に常勤を1人採用することで、事務局の体制が強化され、Uビジョン研究所を担う1人として研修も継続的に実施していきます。

今年度は、公益法人化以降に伴う経費も特別にかかっている状況下で赤字決算となりましたが、19,276円の僅かな赤字となり経費節減に努力したスタッフと少しでも講師派遣を増やすために努力した結果だと思えます。

今後の課題は、認証の社会的役割を知ってもらうための工夫と実践が必要だと思えます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 公益財団法人に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	事業費の金額 (千円)
寄附金	一般寄附金		378
	使途目的寄附金		25,119

賛助会費	個人賛助会費		260
	法人賛助会費		900
認証事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認証審査：1ヶ所 豊寿園 ・ 抜き打ち調査：3ヶ所 龍生園、ケアハウス中山ちどり、ケアホーム中山ちどり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊寿園 2017年3月15日認定 ・ 龍生園 2017年5月16日～17日。 中山ちどり 2017年6月19日～20日 	2,378
講師派遣事業	<p>年間契約で実施したのは7ヶ所で23回（1回で2日から3日のところもある）</p> <p>他の団体から依頼された研修は2ヶ所で7回。</p> <p>単発依頼で1ヶ所。</p>	<p>H29年1月3回（7日間）。2月4回（6日間）。3月2回（4日間）。4月5回（13日間）。5月5回（11日間）。6月2回（5日間）。7月5回（12日間）。9月5回（13日間）。</p>	6,678
調査・研究事業	申請したが落選し、実施できなかった。		0
出版事業			239

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上